

詠む

ご応募いただいた俳句、川柳および短歌をご紹介します。コーナーです。

冬至湯柚子を浮べて鼻歌を

藤川忠子

変化する大塚工場冬うらら

如月玲

積雪や足跡のこせ子犬舞う

近藤一郎

はつ春やこの豊かさのおそろしき

片山良樹

ひと仕事終えて癒しの柚子湯かな

藤本宏

佛壇を清めて老の年暮るる

和子

虫の音に涼しい季節がすぐそこに

奥野信子

寒風に追いつてられて散歩かな

一森登

あの友もこの友も逝き年の暮

篠原千鶴子

凍玻璃の「ごめん」の文字を陽が溶かす

三宅麻由美

暑すぎる冬から一気に極寒に

前日比↓15℃以上

内孫の結婚願う祖父母です

みはる

寒暖差年を重ねて追そゆく

風尾八江子

煩惱にまみれて鳴るか除夜の鐘

藤本宏

温暖化暑くて地球が泣いている

奥野信子

赤い服着たが気になる顔の皺

篠原千鶴子

自民党パーティー券に手品足す

三宅麻由美

吉野川水辺の土地で水間美馬

中妻伸一

安堵するお腹を痛めた三人の年に一度の雑談会

佐藤みどり

枯れ畑の千草に宿る今朝の霜ひかりを伴ない白極みたり

成田雅子

救急車雪降る中をけたたまし事故か病気か我が身におきかう

上村清香

在所人何言わんとす野辺の道あちらこちらの小さき鳥居

如月玲

ありがたしどうゆう訳か知らねども紅茶にゆづで今朝も健康

松家和由

我が庭に紅き花つけブリリアン風の中に直くと立ちて

一森登

娘訪い手料理持ちて台所整理してよりそつと帰りぬ

篠原千鶴子

朝日さす客間彩る葉ぼたんも能登の震害ちぢれ悲しむ

三宅麻由美

君からの優しい言葉それだけで今日と言う日が終われば良いのに

住友洋士

今日冬至年末ジャンボ締切日一陽来復運だめし

大博打